



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その61

「南山大学」の東側にある「神言神学院」で、「南山大学」キャンパスと同じく、アントニン・レーモンドが設計し、1966年に竣工しました。レーモンドは、「帝国ホテル」を設計するフランク・ロイド・ライトの助手として来日しましたが、1922年に独立し、前川瓘男、吉村順三等を育てました。その後の日本の現代建築に、多大な影響を与えています。

CURRENTLY WORKS



製作家具の転生・・・機能定な再生

医療の一部として、それぞれの方に合わせた「整形外科靴」を製作する靴店です。1997年の開店から…いや、現社長のお父様の時代から、永くお付き合いさせて頂いています。今回は、照明と床のリニューアルとのご要望でしたが、一部レイアウトを見直し、別の支店で当社が製作したカウンターを、さらにリニューアルして、新しい機能で再生させました。

PRIVATE TOPICS



藤原のこだわり その13

今回は、京都東山にある高台寺です。この寺は臨済宗で、豊臣秀吉の菩提を弔うために造られたそうです。そのためか建物と庭というより、雄大な庭の中に建物があるといった優雅な風情があります。さらに敷地内には、開山堂、霊室、茶室、黒門などもあります。また、庭園は小堀遠州作とされ、しだれ桜と萩の名所ともなっています。

EDITIONAL NOTE

8月には「お盆」があります。これは、仏教の「盂蘭盆会（うらぼんえ）」に日本古来の祖霊信仰が混じり我が国独自の風習となりました。当初は上流階級だけの風習でしたが、江戸時代には庶民にもいきわたりました。「盆踊り」も、本来は宗教行事でしたが、時期的な豊作祈願や、農村の娯楽ともなっていました。

編集担当：太田・藤原